

平成30年度 開校予定

新市立高等学校基本設計が完了しました

現在の市立高校3校（川口総合高校、川口高校、県陽高校）を再編統合し、平成30年度に新たな高等学校として新市立高等学校が開校します。
新市立高等学校の開校にあたり、新たに整備する施設の規模や配置などがまとまりました。

今後のスケジュール（予定）

平成26年度	実施設計
平成27年度	実施設計
新校工事	着工
平成29年度	新校舎竣工
平成30年度	新校開校
平成32年度	アリーナ棟竣工
平成33年度	新校工事完了

設置場所

第1校地…現川口総合高等学校
校舎棟、アリーナ棟、第1グラウンド等
第2校地…現川口高等学校
管理棟、第2グラウンド等



課程・学科・学校規模

全日制課程	… 普通科	各学年400人（10学級）	合計生徒数	1,440人
理数科	各学年	80人（2学級）	合計生徒数	480人
定時制課程	… 総合学科	各学年120人（3学級）	合計生徒数	480人

*両課程とも単位制導入

開校予定年度

新校の開校は平成30年度とします。市立3校は、平成29年度末をもって閉校します。平成30年度からは、市立3校の生徒は全て新校生となり、在籍の学科については、新校においても継続し、当該生徒の卒業をもって（全日制は平成31年度、定時制は平成32年度）閉じるものとします。

○全日制

- ・文武両道に優れ、徳力を備えた地域社会のリーダーとなる人材を育成する学校
- ・科学技術創造立国である我が国をリードする人材を育成する学校

○定時制

- ・多様な生徒の興味・関心や進路希望に対応し、特に進路保証ができる教育を推進する学校



新校の基本理念～目指すべき学校像～

充実した施設 快適な学習環境

新たな導線と膜（まく）屋根（やね）による吹き抜け空間を活用した明るく開放的なスペースの創出冷暖房完備（教室、管理諸室）人工芝のグラウンド（第1校地 400mトラックを含む）バスケットコート3面分の大アリーナ（第1校地）両翼90mの野球専用グラウンド（第2校地）

一足制

（下足を中心とした学校生活）

一足制を取り入れることにより、スペースの有効利用が可能となり、非常時における避難も容易となります。

地域の避難施設 としての機能

災害時における避難施設としての機能を備えるように、防災備蓄倉庫、マンホールトイレなどを整備します。

エコスクール

膜屋根による自然採光に加え、雨水・井（い）水（すい）・地中熱を活用するなど、周辺環境に配慮し、地球高温化防止を推進しながら、さらにライフサイクルコスト削減を図る施設を整備します。

計画場所：上青木3-1-40

現川口総合高校、現上青木公民館
敷地および周辺の廃道等を含む

敷地面積：49,620 m²
建築面積：13,484 m²
延床面積：33,435 m²
階数：地下1階 地上5階
整備施設：校舎棟、アリーナ棟、
第1グラウンド等



近隣への 砂塵対策



計画場所：朝日5-9-18

現市立川口高校

敷地面積：31,882 m²
建築面積：630 m²
延床面積：630 m² 階数：地上1階
整備施設：管理棟、
第2グラウンド等